

まちづくりビジョン検証結果 【概要版】



1 中央区



1 検証手法

(1)まちづくり推進事業等の振り返り

- ・10年間で実施したまちづくり事業の振り返り、実績まとめ

(2)区民アンケート

- ・区民3,000人アンケート（無作為に抽出した18歳以上の区民）
- ・町内自治会アンケート

回答方法：郵送またはWebアンケート
回答数：997人（回答率33.2%）

(3)まちづくりワークショップ

- ・テーマごとに5回実施
 - ①防犯、防災 ②健康、福祉
 - ③子育て ④にぎわい
 - ⑤地域の魅力、つながり
- ・地域団体と学生等の参加

参加人数：133人（うち 学生約30人）

(4)有識者インタビュー

- ・各分野の有識者とインタビュー形式で意見交換を行い成果や課題、今後の目指す姿などを聴く

13組の有識者と意見交換を実施
インタビュー内容は冊子を作成

※中央区全課で組織するPTを立ち上げ、上記4つを企画実施。
地域住民とPTメンバーを中心に、検証・分析を行った。

2 検証結果

(1) 方向性ごとのまちづくり推進事業の実績

方向性 1	“きらり”とひかる 品格たようまちをつくる	方向性 2	“わくわく”があふれる活力と 賑わいのあるまちをつくる	方向性 3	“ほっと”できる安全で 安心なまちをつくる	方向性 4	“いきいき”と暮らせる 健やかなまちをつくる
●校区カルタ製作事業 H25～27 校区の魅力や自慢を歌いこんだ「校区カルタ」「白川夜市」が月1回開催。R3年度までに5校区で作成	 	●地域活性化支援事業（白川夜市）H29～ 20回開催、来場者延べ25,473人 ●校区の魅力発見発信事業（近未来キャラバン）H29～ 自治会や店舗をこどもたちが取材・HP作成し、地域の魅力を発見し発信する小学生の参加者計106人	 	●地域防災力強化経費 H29～ そなえる防災講座（計21回開催）  	●中央区地域ICT推進拠点整備事業 R3～ 「くまもとデジタルサポートセンター」設置 利用者延べ約450人  	●お互いさまのまちづくり啓発事業 H30～ 地域の特性や実情を反映させた勉強会等啓発活動をささえりあごとに実施	

(2) 検証から見た現状・課題

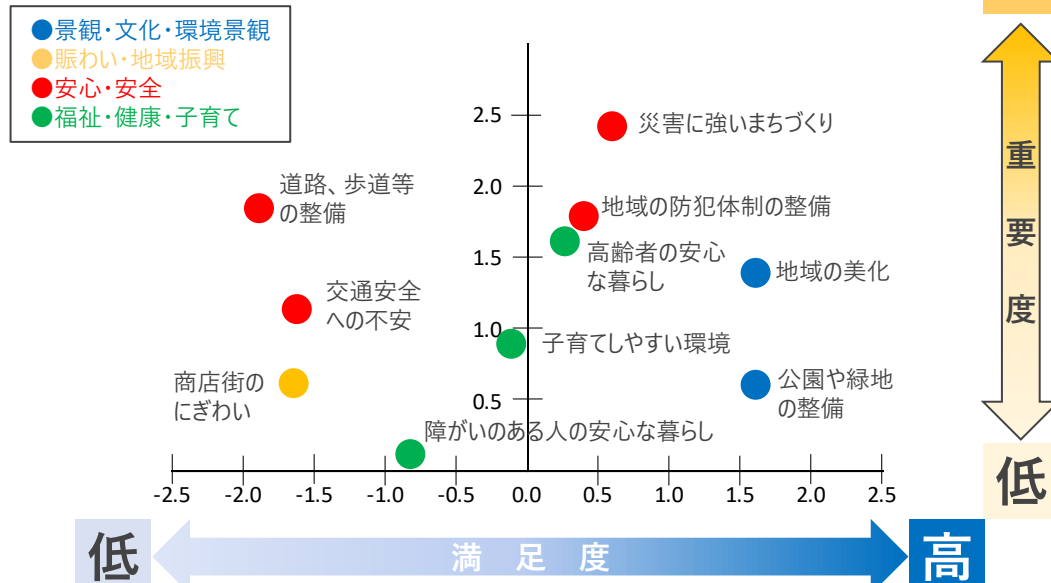
【成果が見られた項目】

- ・現ビジョン策定時に、最も気がかりなこととして挙げられていた「災害に強いまちづくり」の満足度は高くなっており、防災講座の開催等の地域の防災活動への支援は大きな成果が見られた。
- ・「景観・環境」への満足度は高いことから、街並みづくりへの助成、地域の魅力を発信する事業等は一定の成果が見られた。

【課題が残る項目】

- ・「商店街の賑わい」は、現ビジョン策定時の区民アンケートでは、中央区の誇りとして挙げられていたが、熊本地震及びコロナ禍の影響を強く受け、満足度が低くなっている。
- ・「地域のつながり」は、コロナ禍の影響、マンションの新規建設等の影響が大きく、地域のつながりの希薄化など課題が残る。
- ・「道路、交通問題等」は、引き続き不満が多く、継続的な対策が求められる。

・まちづくりに関する満足度・重要度（区民アンケートより）



2 東区



1 検証手法

(1) 区民アンケート

ビジョン策定時と同様に、16歳以上の東区在住等の方から無作為に抽出した2,000人を対象に実施。670名から回答、回答率は33.5%

(2) 地域団体アンケート

校区自治協、PTA等10団体、69組織に10年間の変化、現状の課題、今後の東区の展望等のアンケートを実施。5団体、26組織から回答、回答率は39.4%

(3) ワークショップ（まちづくり懇話会）

まちづくり懇話会委員14名、熊本県立大学の学生10名とビジョンの各基本方針に関してグループインタビュー方式によるワークショップを開催。

(4) 熊本県立大学生へのアンケート

(3)のワークショップに参加いただいた県立大学生に東区の今後のまちづくりの方向性、目指すべき姿について追加でアンケートを実施。

2 検証結果

(1) 東区まちづくりビジョンに基づく区の実取組

基本方針1 人と人とがつながり世代を越えて語りあえるまち

【取組】

- 自治会加入啓発グッズを配布し、加入を促進
- 地域課題解決のため地域と企業を結ぶまちづくり応援事業の実施
- 地域団体役員等向けICT講座の開催
- 地域の文化資源を活用したウォーキングイベントの開催 など



・地域と企業をマッチングするワークショップ開催

基本方針2 誰もが安全で安心して過ごせるまち

【取組】

- 高校生と協働による交通安全の啓発
- 地域と合同で防災訓練を実施
- ちょこっとパトロール（防犯パトロール）への支援
- 防災に関する知識を楽しみながら学べるイベントの開催 など



・ちょこっとパトロール

基本方針3 誰もがいきいきと暮らせるまち

【取組】

- 「子育て支援ネットワーク」への活動支援
- 子育て情報マップを窓口等で配布し、子育て世帯を支援
- 「8020推進員」等の健康に関するボランティアの養成
- 認知症の方とその家族を支える「認とも」の養成 など



・認知症声かけ訓練

基本方針4 美しい自然を守り育てふれあえるまち

【取組】

- 小学生を対象としたポスターコンクールの開催
- 江津湖ボランティア清掃の実施
- れんげ畑を散策するウォーキングイベントの実施 など



・江津湖ボランティア清掃

基本方針5 暮らしやすく活気あふれるまち

【取組】

- 地域の活性化を促進する東区民まつりの開催
- 若手農業者によるネットワークづくりの推進
- 東区内道路の維持管理 など



・東区民まつりにて地元農産物を販売

(2) 検証から見た現状、課題等

基本方針1 人と人とがつながり世代を越えて語りあえるまち

【検証から見た現状、課題等】

- コロナ禍等の影響で地域活動が減少し、参加者が更に減少
- 地域活動に必要な担い手と予算が不足
- こどもを通じ地域を活性化させる取組が必要
- 「地域の歴史に触れる」「多彩な文化に親しむ」機会が不足

基本方針2 誰もが安全で安心して過ごせるまち

【検証から見た現状、課題等】

- 通学路等の安全面の確保
- 車、歩行者の交通マナー向上
- 大雨、台風等で被害が発生しやすい箇所への対策
- 災害発生時における高齢者、障がいのある方等への支援体制の構築

基本方針3 誰もがいきいきと暮らせるまち

【検証から見た現状、課題等】

- コロナ禍等の影響で外出する機会が減った高齢者の健康面の懸念
- 保育園、育成クラブ等のほか、子どもが遊べる公園が不足
- 「8020推進員」等の健康に関するボランティアの活動の場の拡充
- 増加している高齢者の単身、2人世帯等への共助の仕組みの充実化

基本方針4 美しい自然を守り育てふれあえるまち

【検証から見た現状、課題等】

- 江津湖などの自然環境保全が充実している
- ごみ出しマナーが悪く、ごみステーション維持管理が負担

基本方針5 暮らしやすく活気あふれるまち

【検証から見た現状、課題等】

- 「地元商店街が賑わっている」「公共交通機関が利用しやすい」と感じる区民には地域差がある。
- 歩道の段差、不鮮明な白線など道路環境の不良

3 西区



1 検証手法

① 取組の振り返り

【内容】

- ・10年間の西区のまちづくり事業実績の振り返り
- ・4つの重点取組の成果実績
- ・エリア別の取組の成果実績

② アンケート調査

【対象】

- ・地域団体（自治会長等）
- ・110人/138人（回収率79.7%）

【内容】

- ・4つの重点取組の満足度調査14項目
- ・自由記載 4項目



③ 企業等へのインタビュー

【対象】

- ・西区管内の団体、学校、企業、官公庁、観光名所、寺社等46件

【内容】

- ・区設置による変化について
- ・西区の強み・弱みについて
- ・西区の将来像について

④ まちづくり懇話会

【対象】

- ・第5期まちづくり懇話会委員14名

【内容】

- ・懇話会の開催、委員への個別インタビューによる意見聴取
- ・まちづくり、エリア、イベント、地域コミュニティ等、5項目

2 検証結果

(1) 安全安心のまちづくり

【成果】

- ・校区防災連絡会設立（全校区）
- ・地域版ハザードマップ65地区
- ・パッキング講習会212名参加
- ・河内芳野地区移動販売利用者延1,705名（R3年度）

【課題】

- ・土砂崩れや津波等への対策
- ・住民の防災意識の高揚
- ・限界集落の存在
- ・新旧住民の交流



(2) 子育てしやすいまちづくり

【成果】

- ・校区単位の健康まちづくり事例集作成
- ・子育て応援マップ応援マップ作成
- ・駅前子育てひろばの利用者延640名程度/月

【課題】

- ・子育て支援に関する新旧住民の交流
- ・子育て中の人も地域活動に参加できるような仕組みづくり



(3) 楽しさあふれるまちづくり

【成果】

- ・西区フェスタ6回開催（累計来場者数227,900名）
- ・熊本港釣り大会 438名参加
- ・サイクリングマップ配布数 約10,800冊

【課題】

- ・更なる西区の魅力発信イベント
- ・脆弱な公共交通、交通インフラ
- ・観光施設や宿泊施設が少ない
- ・体育館や野球場等の施設整備



(4) 農水産業を活かしたまちづくり

【成果】

- ・認定新規就農者 36経営体
- ・西区野菜ネットワーク設立運営
- ・農業体験イベント開催 計14回
- ・新規就農者の認定 37戸

【課題】

- ・農水産業の後継者不足
- ・耕作放棄地の増加
- ・西区の農水産物を使った商品開発
- ・農振等の規制緩和



1 検証手法

1	まちづくりビジョンの基本目標に基づく10年の取組事業について 実績や成果等を整理 し懇話会等の資料とする。
2	南区の現状やまちづくりビジョンに関する 区民アンケート を実施し、評価や課題の洗い出しを行う。
3	南区まちづくり懇話会 にてワークショップを開催し、新旧懇話会委員・大学生・職員等の意見交換により、評価や課題の整理を行う。

2 主な取組実績

基本目標①「農と漁業を誇れるまち」 ・南区おいしいもの収穫体験・料理教室 ・火の君商品開発塾事業 ・「おいしい南区」魅力発信事業 など	◆南区おいしいもの収穫体験・料理教室 	◆まち歩き手帖 
基本目標②「歴史・文化を育むまち」 ・南区を歩こう～まち歩き手帖作成 ・塚原古墳公園一泊体験 ・南区の魅力発信バスツアー など	◆自然を活かした地域連携支援事業 	◆南区いきいきスポーツ大会 
基本目標③「自然と共生した住みやすいまち」 ・自然を活かした地域連携支援事業 ・幸田花のまちづくり育成事業 など	◆南部世代間交流事業 	◆南区防災フォーラム 
基本目標④「みんなが健康で元気なまち」 ・8020推進育成事業 ・南区“いきいき”スポーツ大会 ・南区人生会議の日 開催 など		
基本目標⑤「地域ぐるみで子どもを育てるまち」 ・南部世代間交流事業(トークフォグダス) ・南区子どもいきいき学びフェア ・子育て支援ネットワーク事業 など		
基本目標⑥「安全安心なまち」 ・南区地域防災フェア ・南区防災バスツアー ・南区防災フォーラム など		

3 検証結果（区民アンケート及び懇話会意見）

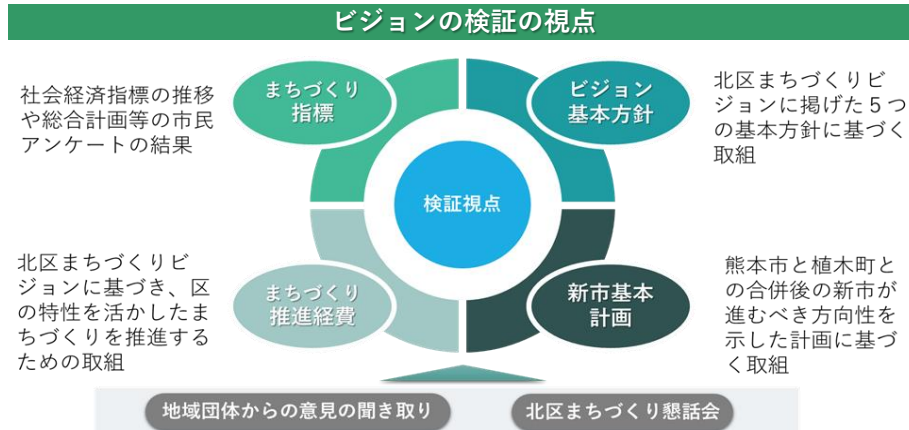
基本目標1	「農と漁業を誇れるまち」
後継者の育成・支援等に関しては、区に実質的な権限がないことから達成は困難であった。今後は関係各課と連携し、南区の特徴である 農漁業の魅力 を効果的に 発信 し、区民の農水産への関心を高める取り組みが必要である。	
基本目標2	「歴史・文化を育むまち」
バスツアーなど体験を通した取り組み等により、満足度も高く概ね達成できたと考えられる。次世代につなげていくためにも、 文化伝承の機会を提供 することで文化の継承を進めることが重要と考える。	
基本目標3	「自然と共生した住みやすいまち」
道路や公園などの身近な場所の美化活動においては、概ね達成できたと考えられる。出前講座等による 子ども達への教育・体験活動や、地域や学校・家庭と連携した緑化の取り組みを進める ことで、さらに満足度は高まるものと考えられる。	
基本目標4	「みんなが健康で元気なまち」
健康づくりの推進については満足度が比較的高く、一定の評価が得られたと考えられる。依然としてコロナ禍の影響を心配する声もあるため、感染防止と活動の両立ができるよう、 その内容や方法に変化を加えて活動を実施 していく必要がある。	
基本目標5	「地域ぐるみで子どもを育てるまち」
子どもたちの安心安全な環境づくりは概ね達成できている。一方、コロナ禍により子育て支援に関する課題があった。今後は、コロナ禍に対応した 新たな子育て支援活動の方法や子育てネットワークのあり方 についての検討が必要となる。	
基本目標6	「安全安心なまち」
自主防災クラブの結成率の高さなど、区全体の防犯・防災意識が向上したことにより、概ね達成できたといえる。河川、道路の危険箇所の整備に関しては、必要な予算の確保に努めるとともに、 国・県管理の河川等については連携を強化し整備を支援していく ことが必要である。	



北区まちづくりビジョン検証の概要

1 検証の視点

本ビジョンの検証にあたっては、人口推移などの社会経済指標をはじめ、毎年実施されている総合計画の市民アンケートの結果や北区まちづくりビジョンに掲げている「基本方針」の取組、新市基本計画に位置づけられた取組の実績等により行った。

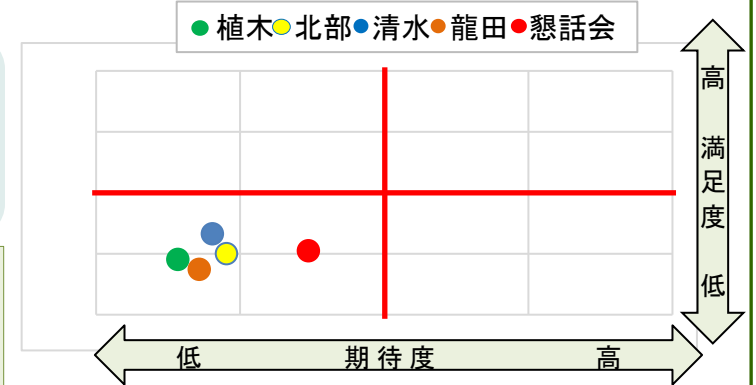


基本方針3 まちの賑わいと産業の振興

野菜摂取促進事業（令和3年度～）
【(参考)成果・実績】
地元の農水産物を優先的に選ぶ市民の割合(北区)
H29:79.8%→R 3:83.7%



▶満足度・期待度が低い分野であるが、引き続き取り組むべき重要な分野である。農業、商工、観光の各分野に対するニーズを把握し取り組む必要がある。

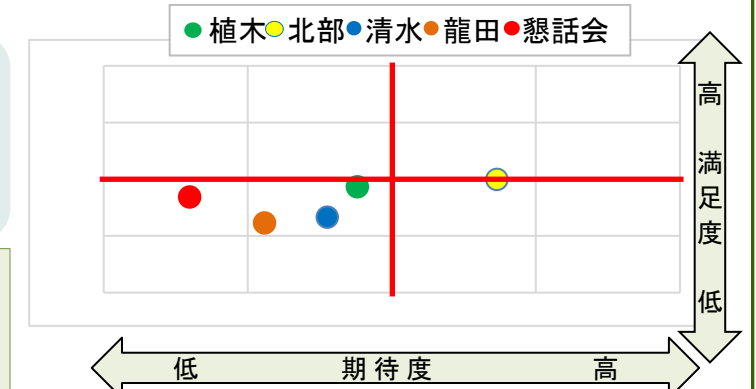


基本方針4 地域の資源の承継と活用

御馬下の角小屋カフェ（令和元年度～）
【(参考)成果・実績】
文化に親しんでいる市民の割合(北区)
H29:24.3%→R3:27.7%



▶満足度・期待度にばらつきがある分野であるため、地域ごとに地域資源を整理し、資源ごとに地域と連携した活用方法について検討する必要がある。

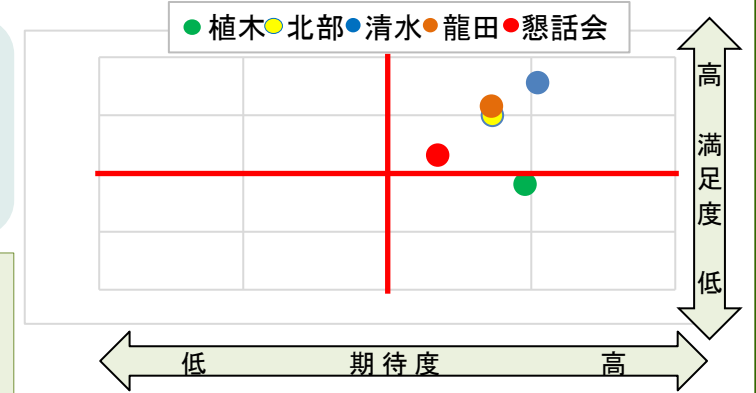


基本方針5 住民自治と協働の推進

北区公式YouTubeチャンネル開設（令和2年度～）
【成果・実績】
北区YouTubeチャンネル（R4.4.22現在）
チャンネル登録数 513



▶満足度・期待度が高い分野である。新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動が停滞したが、地域のニーズを把握し、地域と連携した取組が必要である。



4 総括

この10年で人口減少や少子高齢化、熊本地震、コロナ禍による人間関係の希薄化など地域課題は変化しています。このような中、これまで取り組んできた北区まちづくりビジョンの5つの基本方針に沿った各取組について、区民の方々や地域ごとにご意見を伺いました皆様方、北区まちづくり懇話会からの一定の評価をいただいたと考えております。

この検証でいただいたご意見や課題、さらに北区まちづくり懇話会からのご提案等を踏まえ、今後各地域の良さを引き出し、区全体の交流や区民と区役所の協働をさらに促すとともに、北区の魅力向上させる取組を進め、区民満足度の高い魅力あるまちづくりを関係局と連携を図りながら進めてまいります。

2 検証手法

- (1)まちづくりビジョンの基本目標に基づく取組実績や成果等を整理したものを資料とする。
- (2)4地域(21校区・1地区)において、地域団体の方々から基本方針ごとに満足していることや、今後に期待すること、主な現在の課題をヒアリングした。
- (3)北区まちづくり懇話会(学識経験者・福祉・商工業の代表者)において、北区まちづくりビジョン検証資料をもとに、基本方針ごとに満足していることや今後に期待すること、主な課題に対する意見交換を行う。

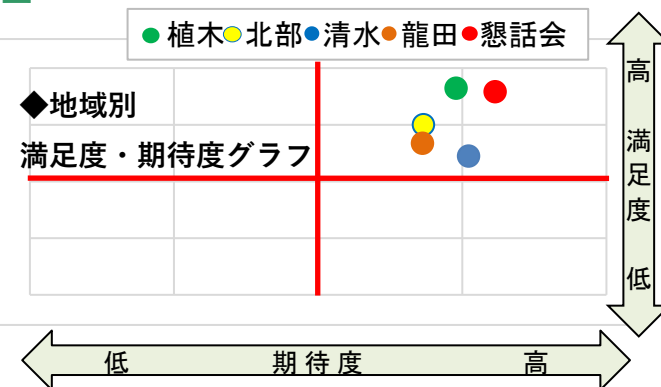
3 検証結果

基本方針1 健康と暮らしの安全・安心の向上

北区いきいき交流スポーツ大会（平成25年度～）
【成果・実績】
これまでの大会参加者
合計 2,957人



▶満足度・期待度が高い分野である。今後も健康と暮らしの安全安心を向上する施策が必要である。



基本方針2 住みやすい住環境の整備

ゆうゆうバス(植木循環ルート)の運行
【成果・実績】
ゆうゆうバスの利用者数
H24: 9,151人
→R 3:12,492人



▶満足度・期待度にばらつきがある分野であるため、道路整備や運行ルート見直しなど地域のニーズを把握しながら、各地域にあった対応が必要である。

